

令和5年度 第3回 舞阪中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年11月16日（木） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 舞阪中学校 1階 会議室
- 3 出席委員 渡邊 東一、鈴木 孝一、江間 雅尾、河合 數馬、小内 正枝、片桐 美恵子、
佐々木 雄一
- 4 欠席委員 鈴木 明日香
- 5 オブザーバー 河合 一徳（舞阪協働センター副所長）
- 6 学 校 中村 真由美（校長）、松下 宏幸（教頭）、鈴木 朱美（教務主任）、
宮崎 友貴（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 宮崎 友貴

10 議長の選出

議長は前回会議（第2回）の経緯より、鈴木委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）生徒の様子について（授業参観より）
- （2）職場体験・家庭科ボランティアについて
- （3）来年度の教育活動について

12 会議記録

司会の鈴木教務主任から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）生徒の様子について（授業参観より）

議長から、授業参観を実施して各委員に気づいたことを挙げるよう提案があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・生徒同士で教えあっていてよいと思った。（河合委員）
- ・全体的に集中していた。先生の授業は、興味関心を高める工夫がなされていた。（渡邊委員）
- ・タブレットを使い、明るく楽しい雰囲気だった。（江間委員）
- ・体育の授業で生徒が必要な時に水分補給をしていて自主性があってよいと思った。（片桐委員）
- ・1クラスの人数が少ないことで1人1人の顔が見えてよいと感じた。（小内委員）
- ・タブレットを置くことで机上が狭くなる。作業効率のよい大きさになるとよい。（佐々木委員）
- ・授業についていけない生徒へのフォローをお願いしたい。（鈴木委員）

(2) 職場体験・家庭科ボランティアについて

議長の指示により、松下教頭から、今年度の職場体験と家庭科ボランティアについて説明があった。委員からは、以下の発言があった。

- ・保育園とスーパーで体験中の生徒を見かけたが一生懸命やっていた。(江間委員)

また、学校支援コーディネーターである片桐委員からは、以下の発言があった。

- ・初めての所にも生徒の受け入れをお願いするため足を運んだ。どこも好意的であったが、まだコロナを気にしている所もあった。舞阪は企業が少なく、私一人では情報が不足しているため、委員から広く情報を集めたい。(片桐委員)

→子どもが体験したい場所があれば、学校側はこの場で伝えて欲しい。(鈴木委員)

- ・近隣の中学校が同じ時期に職場体験を実施していて、日程が重なっていたために断られてしまった所もあった。

→来年度の学校運営に活かしたい。(中村校長)

- ・家庭科ボランティアは地域への声掛けが広がって集めることができたが高齢な方が多い。裁縫のできるボランティア可能な方がいれば紹介してほしい。(片桐委員)

(3) 来年度の教育活動について

中村校長から、別紙資料に基づき、来年度の教育活動について説明があった。委員からの発言は、以下の通りであった。

- ・自治会からのお願いとして小・中学校にも参加してもらい、舞阪町全体で防災訓練をしたいと考えている。(鈴木委員)

- ・キャリア講座に落語の講師を呼びたいが謝礼に困っている。(片桐委員)

→地域の助成金などもあるため相談してほしい。(河合オブザーバー)

→夢育やらまいか事業の予算を何に使うか熟議してほしい。(教育総務課)

その他報告事項等

松下教頭から、学校運営協議会の自己評価について説明があり、次回の協議内容とすることが示された。

宮崎CSディレクターから、次回の会議は、令和6年2月22日(木)午後2時から1階会議室で開催する旨の報告があった。

第4回議長の選出について、河合委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。